

ICU ジェンダー研究所ジャーナル
『ジェンダー&セクシュアリティ』

第7号投稿規定

2011年3月現在

1) ジャーナル概要

『ジェンダー&セクシュアリティ』は、国際基督教大学ジェンダー研究センターが年一回発行するジェンダー・セクシュアリティ研究分野の学術誌である。研究部門では、ジェンダー・セクシュアリティ研究における実証的研究や理論的考察に関する論文（綿密な学術的研究と、独創的な考察から成る、学術界に広く貢献しうる論考）、研究ノート（学術的研究・考察の途上にあつて、学術界に広く貢献しうる論考）を掲載する。フィールド部門では、活動家によるケーススタディ、組織・国内・国際レベルにおけるジェンダー関連活動に関するフィールドレポート（様々な領域の専門家、および研究者が、日々の実践の中から現状の一側面を報告するもの）を掲載する。書評部門では、ジェンダー・セクシュアリティに関連する近刊書の書評を掲載する。

2) 第7号発行日：2012年3月

3) 第7号論文投稿締切：2011年8月31日（水）消印有効

4) 原稿提出先：国際基督教大学 ジェンダー研究センター 編集委員会

郵送：〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2 ERB301

Eメール：cgs@icu.ac.jp

5) 応募要綱

a) 原稿

・本誌に投稿される原稿は、全文あるいは主要部分において未発表であり、他誌へ投稿されていないものとする。

・使用言語は日本語または英語に限る。

・原稿の様式は、Publication Manual of the American Psychological Association (2001年発行第5版)の様式に従うこと。様式が異なる場合は、内容の如何に関わらず受理しない場合がある。見本が必要な場合は、CGS ホームページ上の過去のジャーナル（以下 URL）を参照するか、CGS に問い合わせ

せること。

<http://web.icu.ac.jp/cgs/journal.html> (日本語)

http://web.icu.ac.jp/cgs_e/journal.html (English)

・第一言語でない言語を使用して論文および要旨を執筆する場合は、投稿前に必ずネイティブ・チェックを通すこと。書かれた論文および要旨に文法的な問題が見られるなど不備が目立つ場合は、その理由により不採用になる場合がある。

・ 姓名・所属・専門分野・Eメール・住所・電話およびFAX番号は別紙に記載する（姓名・所属・専門分野は、日本語と英語で記載すること）。審査過程における匿名性を守るため、原稿の他の部分では執筆者氏名は一切伏せること。

・ 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。

・ 本誌が国際的に発表される学術誌であることを踏まえたうえで原稿を執筆すること。

・ 本規定に沿わない原稿は、改訂を求めて返却されることがある。

a-1) 研究部門（研究論文・研究ノート）

・ 研究論文は、図表、図版、参考文献および注なども含めて日本語で 16,000～20,000 字、英語の場合は 6500 words～8500 words の長さとする。

・ 研究ノートは、図表、図版、参考文献および注なども含めて日本語で 12,000 字以内、英語で 5000 words 以内の長さとする。

・ タイトルは日本語で最長 40 字、英語は最長 20 words とする。簡潔明瞭で、主要なトピックを明示したものであること。

・ 日本語か英語による要旨および 5 つのキーワードを別紙にて添付する（日本語は 800 字以内、英語は 500 words 以内）。なお、要旨・キーワードは、日本語原稿の場合は英語を使用することが望ましいが、それが不可能な場合は、原稿と同じ言語で提出してよい（編集部にてもう一方の言語へ翻訳する）。

・ 研究論文として投稿されたものに対し、査読の結果などを踏まえ、研究ノートとしての掲載を認める場合がある。その場合の文字数の上限は研究論文に準ずる。

a-2) フィールド部門（フィールドレポート）

・ 原稿は、図表、図版、参考文献および注なども含めて日本語で 12,000 字、英語で 5000 words 以内の長さとする。

・ タイトルは日本語で最長 40 字、英語は最長 20 words とする。簡潔明瞭で、主要なトピックを明示したものであること。

- ・日本語か英語による要旨および 5 つのキーワードを別紙にて添付する（日本語は 800 字以内、英語は 500 words 以内）。なお、要旨・キーワードは、日本語原稿の場合は英語を使用することが望ましいが、それが不可能な場合は、原稿と同じ言語で提出してよい（編集部にてもう一方の言語へ翻訳する）。

- ・研究論文・研究ノートとして投稿されたものに対し、査読の結果などを踏まえ、フィールドレポートとしての掲載を認める場合がある。その場合の文字数の上限は、研究論文・研究ノートに準ずる。

a-3) 書評部門

- ・原稿は、図表、図版、参考文献および注なども含めて日本語で 5,000～10,000 字、英語で 2000 words～4000 words の長さとする。

- ・タイトルは評する書籍、論文のタイトルが主題、若しくは副題のいずれかに含まれているものとし、日本語で最長 40 字、英語は最長 20 words（日本語と英語で表記すること）。

- ・要旨およびキーワードの提出は求めない。

b) 図表および図版

- ・図表は別紙で添付し、本文内に取り込まないこと。

- ・図版は直接印刷に耐える画質のものを添付すること。

- ・本文中における図表・図版のおおよその位置を原稿上に示すこと。

- ・画像やイラスト、図表など著作権が著者でないものについては、署名された掲載使用の許可書を同時に提出すること。

c) 提出原稿

- ・原稿は、印刷コピーと電子ファイルの 2 種類を提出する。

- ・印刷コピーは、A4 用紙に印刷したものを上記住所に 3 部提出する。

- ・電子ファイルは、E メールに添付して上記アドレスに提出する。

- ・電子ファイルの保存形式

- －できる限り Microsoft Word 形式（ファイル名.doc）で保存したものを提出すること。拡張子.docx の提出は認めない。

- －.doc 形式でのファイル保存が困難である場合は、Rich Text 形式（ファイル名.rtf）、またはプレーンテキスト形式（ファイル名.txt）で保存したものを提出すること。

- －上記以外の形式、特に紙媒体から読み込んだ画像データによる本文及び要旨の提出は認めない。

い。

- ・添付ファイルおよび印刷コピーの内容は、完全に一致したものであること。
- ・提出された原稿等は返却しない。

6) 校正

校正用原稿が執筆者に送付された場合、校正のうえ提出期限内に返送すること。その後、文法、句読法などの形式に関する微修正を、編集委員会の権限で行うことがある。

7) 審査過程

投稿原稿は編集委員会が指名する審査者によって審査される。審査では独自性、学術性、論旨の明快さ、重要性および主題のジェンダー・セクシュアリティ研究に対する貢献度が考慮される。原稿の改稿が求められる場合、審査意見および編集コメントが執筆者に伝えられる。投稿の受理・不受理の最終判断は編集委員会が下すものとする。

8) 著作権

投稿を受理された論文の著作権は、他の取り決めが特別になされない限り、国際基督教大学ジェンダー研究センター編集委員会が保有するものとする。自己の論文および資料の複製権および使用权に関して、執筆者に対する制限は一切なされないものとする。

9) 原稿の複写

原稿が掲載された執筆者には3冊（執筆者が複数いる場合は5冊まで）の該当誌を贈呈する。なお、それ以上の部数については別途ジェンダー研究センターに注文することができる。

10) 購読申込

該当誌の購読の申し込みはEメール cgs@icu.ac.jp で受け付ける。

当規定は予告なく改定されることがある。